



「国の借金」864兆円

最大額更新、1人678万円

財務省は10日、国債と借入金、政府短期証券を合計した「国の借金」の総額が9月末時点で864兆5226億円に達したと発表した。6月末に

比べ4兆2669億円増え、過去最大額を更新した。10月1日時点の推計人口(概算値)の1億2756万人で計算すると、1人あたりの借金は約678万円となった。

国の借金残高は年度末にかけてさらに増加が続く見通しで、来年3月末までに普通国債だけで約29兆円増える見込み。政府は2009年度の税収の落ち込みを赤字国債の増発で賄う方針で、さら

に兆円規模で増え、国の借金残高は過去最大額を更新した。10月1日時点の推計人口(概算値)の1億2756万人で計算すると、1人あたりの借金は約678万円となった。

危機対策の財源を賄った。普通国債の増発で、約8兆8000億円増の563兆2530億円となった。企業の資金繰り支援を手掛ける日本政策投資銀行の財務基盤を強化する

今年度 9月末

税収37兆円台に

国債発行は52兆円超

政府は24日、2009年度の一般計税収を当初見通しの8兆円超減額修正し、37兆円台とする方針を固めた。企業業績の悪化で法人税などが大きく減るため、税収の減額修正は3年連続。減収分を国債の追加発行で穴埋めする結果、09年度の国債発行額は過去最大の52兆円超となる。12月に編成する今年度第2次補正予算案に、増発を盛り込む。

一般計税収は1984年度(3兆9000億円)以来の低水準。国債発行額が税収を上回るの

ため、7月に同行に対し、1兆3500億円の交付国債を発行したのも、加要因となる。000億円減の1.4兆円に208億円減

掲げている。税収の伸びに期待を寄せていたため、09年度に膨らんだ増収要求を大幅圧縮せざるを得なくなる。税収収入に計上する特別会計の剰余金など「埋蔵金」の依存も避けられぬ。

で、新規国債発行額を44兆円以下に抑える方針を

過去最

国債発行、相

今年度税収は36.9兆円=国債発行、相
大53兆円台、「極めて深刻」と財務相

12月8日11時18分配信 時事通信

藤井裕久財務相は8日、国の2009年度税収が当初見積額大53兆円台にとどまることを明らかにし、53兆円に比べて約9.2兆円落ち込み、36.9兆円にとどまる最大の53.1兆円)に比べ約9.2兆円に伴い、国債発行額は過去最大の38.1兆円以下に落ち込む見通し。税収の40兆円割れは終戦直後の46年度以上に膨らむ見通し。税収が税収を上回るのは極めて深刻な状況に陥らむ見通し。国債発行額が税収を上回るのは極めて深刻な状況に陥らむ見通し。国債発行額が税収を上回るのは極めて深刻な状況に陥らむ見通し。

「極めて深刻」

2009.11/25
N